

古くから異国との文化交流が行われていた長崎の地において発展した、
異文化との折衷文化『和華蘭文化』。
今もなお色濃く残る異文化交流の名残。ふるき良き時代に想いを馳せてみよう。
そしてこれからの時代を生きる私たちが学ぶべきものとは。

グラバー園名誉園長
ブライアン・パークガフニ氏講演会
わ か らん
長崎の和華蘭文化に学ぶ

2016年
11月4日(金)
10:30~12:00 (10:00開場)
ホテルニュー長崎 3階 鳳凰閣の間
(入場無料・事前申し込み不要)



アクセス JR 長崎駅より徒歩1分
住所 長崎市大黒町 14 番 5 号
電話 095-826-8000

《ブライアン・パークガフニ氏 プロフィール》



グラバー園名誉園長／
長崎総合科学大学 環境・建築学教授
1950年：カナダ中部ウィニペグ市生まれ。72年：
ヨーロッパ・インドを経て来日し、73年～82年：
京都の妙心寺にて禅道を学ぶ。禅道の修行で訪れ
た長崎に感銘を受け、長崎に移り住む。同市嘱託
職員として勤務し、92年には外国人として初めて
の長崎県民表彰を受賞。96年：長崎総合科学大学
教授に就任し、歴史社会学・長崎の国際交流史を
専門に、学生たちと日々語らう。

【主な著書】「リンガー家秘録」「グラバー園への招待」「霧笛の長崎居留地：ウォー
カー兄弟と海運日本の黎明」「蝶々夫人を探して」他



絵はがき 昭和30年代のグラバー園